

関西大学 客員教授講演会

落合 陽一

筑波大学教授／デジタルネイチャー開発研究センター長／
東京大学大学院准教授

デジタルネイチャーのこれから

—— 計算機自然がひらく、テクノロジーと人の未来 ——

5月23日(土) | 14:40~16:10

参加無料

一般
申込可

事前
申込制



対面 (千里山キャンパス) ※オンライン配信あり

※開催場所等の詳細は、申込者にメールでご案内します。

参加申込締切：5月15日(金) 12時まで

※参加申込後に抽選を行います。

ご講演内容

計算機自然（デジタルネイチャー）を基軸に、ヒューマンコンピュータインタラクション、バーチャルリアリティ、計算機ホログラフィ、超音波・レーザー等の波動インタフェース、AIによるアクセシビリティなどの研究を手がかりとして、テクノロジーと人の関係のこれからを考える講演です。これから社会に出る学生が、AIやテクノロジーとどう向き合い、自らの未来をどう拡張していくかについてもお話しいたします。

講演スケジュール

- 1 落合氏によるご講演 (約 25分)
- 2 落合氏 × 学生 質疑セッション (約 35分)
- 3 総括・締めくくり (約 25分)

プロフィール

筑波大学でメディア芸術を学び、2015年 東京大学大学院 学際情報学府にて博士(学際情報学)取得。2015年より筑波大学にて助教を経て現職。計算機自然(デジタルネイチャー) / ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)を基軸に、バーチャルリアリティ、計算機ホログラフィ、超音波・レーザー等の波動インタフェース、AIによるアクセシビリティ等の研究に従事。令和8年度、令和7年度、令和5年度 科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞。2020年より大阪・関西万博テーマ事業プロデューサーを務めた。



参加申込
はこちら



※参加申込後、抽選を行います。



質問学生募集フォーム



質問学生受付締切：5月11日(月)

※当日発表者は応募者の中から数名選抜となります。

